

平成29年度 北海道札幌丘珠高等学校 自己評価／学校関係者評価 結果

教職員自己評価					
No.	分掌	評価項目	内容の紹介	教職員自己評価平均	改善策
		(教育計画の実践項目・研究主題のうち評価を求めたい項目、求めるべき項目)		4 十分達成している 3 ほぼ達成している 2 改善の余地がある 1 十分な検討が必要  ( )は昨年度	
1	学校運営	本校は生徒に校訓の姿勢を養わせるため、教職員が一体となってさまざまな教育活動において実践しているか。	校訓「不撓不屈」強い力を持ち、いかなる困難にも決してくじけない。「至誠」真心を持ち、誠意を尽くして事に当たれば、自ずと報われる。「創造」柔軟で広い視野に立ち、自らの力で創造的に行う	2.69 (実施なし)	・本校の校訓「不撓不屈」「至誠」「創造」が教職員それぞれの活動の中でどう意識され、結びついているのか今一度それぞれが意識しながら計画を立てていく
2		学校広報活動に努めたか。	学校説明会、中学校訪問、中学校の総合学習及び保護者見学の対応を通し、内容や進行を工夫しながら様々な情報を提供することができた。HPでは、行事の様子や通信、進路への取り組み、部活動の大会結果等の更新を増やし、PR活動を進めている。	3.13 (3.08)	・HPについては他分掌と連携しながら、今年度同様に頻繁な情報発信に努め、校内外の生活の様子を中学生・保護者に知ってもらえるようにする。 ・学校説明会については模擬授業など、中学生が実際の高校生活を感じられるよう工夫していく。
3	総務	校内外との連携・調整に努め、円滑な学校運営が図られたか。	年間・月間行事予定を調整し、行事の見直しを含めて業務の円滑化・省力化を進めている。対外的には奨学金とバス配車において、関係各所と連絡を密にしてきめ細かい対応に努めている。	3.02 (3.18)	・行事に関しては精選できる行事・会議の見直しを進めていき、先生方が生徒と向き合う時間の確保に努める。 ・バスに関しては生徒へのアンケートを取り、34条からの登校スクール便も含めて検討し、バス会社へ要望していく。
4		PTA・後援会及び同窓会との連携を深め、積極的な参加を促せたか。	PTA・後援会についてはPTA総会・役員会・運営委員会を通して円滑に運営され、学校祭・マラソン大会等のPTA行事、丘珠だよりの発行等に積極的に参加いただいた。同窓会については同期会等への対応のほか50周年に向けた資料の整理蓄積を進めている。	3.11 (3.10)	・PTA・後援会については、役員のみならずと連携を深め、参加人数が増えるような各種行事や会議のあり方を工夫していく。 ・同窓会については役員体制を50周年に向けて整えていく。
5		フィールド及び科目選択の指導の充実が図られたか。	学習ガイダンス・進路ガイダンスや担任との個人面談等を実施し、将来設計を考える機会を与え、フィールド及び科目選択の指導へ結びつけた。	2.68 (2.88)	・本人の適性や進路からのフィールド及び科目選択を充実させるため、面談の機会を拡充させ、ミスマッチを防ぐ。
6	教務	授業規律指導の徹底により、学校全体の授業規律を向上させ、基礎・基本の定着が図られたか。	「教務だより」の発行や学年による授業中の巡回を実施し、授業規律の育成に努めた。また、高大接続改革や育成すべき資質・能力に関する研修、思考力・判断力・表現力テスト実施などにより基礎・基本定着に向けた授業実践のための情報収集に努めた。	2.76 (2.96)	・HR担任や教務部による巡回の強化と、生徒がわかる授業の実践により生徒が授業に参加する意識を向上させる。
7		公開授業や授業評価の活用を通して、教科指導力の向上や授業改善への意識の高揚が図られたか。	前期期末考査終了後、生徒による授業評価を実施し、その結果を各教員に通知するとともに、研修会において本校の授業に関する課題点を提示している。授業研究週間を設定し、各教科で研究授業を実施した。	2.56 (2.78)	・該当学年のみ6校時、その他の学年は5校時で放課するなど、全教員が授業を参観し、指導力を向上させるサイクルを確立させる。
8		週番活動や身だしなみ指導の実施により、登下校の生徒の規律が図られたか。	週番活動のローテーションと学年指導部が連携を図り、登下校時に学校周辺や校地内の安全指導、身だしなみ指導を実施している。	2.90 (3.10)	・冬期間ではバス停や横断歩道付近の週番指導をおこない、安全指導に努めている。身だしなみ強化週間を実施するなど改善に努めている。次年度も実施し改善に努めていきたい。
9	生徒指導	自転車街頭指導とバス同乗指導を行ったことにより、生徒自身の意識向上が図られたか。	月1度の街頭指導と今年度は自転車交通安全教室を実施した。自転車通学終了後からはバス乗車に関する指導をおこない、下校スクール便では整理券を配布するなど、乗車の際のルール遵守やモラル向上を図っている。	2.81 (2.82)	・交通ルールを遵守させる指導、啓蒙活動を実施していく。事故報告の提出に加え、なぜ事故に至ったのかを検証させ、原因を分析し共有することで再発防止に努めていきたい。
10		生徒自身の規範意識が向上し自己指導能力や自己管理能力の育成が図られたか。	おもに夏期に遅刻した回数と状況を把握して家庭と連携を図り、遅刻者に対して段階的な指導を実施している。	2.79 (2.88)	遅刻が多い生徒に対して段階指導を実施し、改善傾向が見られた。次年度以降も本人への指導に加え、保護者・担任・学年指導部が連携を図り、改善に努めていきたい。

学校関係者評価						
自己評価の適切さ		改善への取り組みの適切さ		学校関係者記述意見		
4 適切な評価 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 不適切		4 十分効果がある 3 効果がある 2 あまり効果がない 1 効果がない				
4 3 3 18 2 1 1 0	3.09	4 3 3 13 2 6 1 0	2.86	・素晴らしい校訓です。卒業までの3年間で、生徒の皆さんに浸透させていただきたい言葉です。		
4 8 3 15 2 0 1 0	3.35	4 9 3 12 2 1 1 0	3.36	・(教務の中学校での出張説明が)娘の学校にもいらして楽しく話を聞けたと言うのを他の方から耳にしたので、(出張説明の時に)部活動についても話がより詳しくあると良いと思います。		
4 4 3 19 2 0 1 0	3.17	4 5 3 15 2 2 1 0	3.14	・PTA・保護者も参加した方が良いと思います。(意見交換等) ・スクール便を待つ長蛇の列に驚きました。バスが生徒より先に学校で待機してくれると、寒い中、待たずにすむと感じました。 ・冬期間のバスについて、満車で乗車できない事もあるとのこと、できれば増便して頂ければと思います。 ・冬にバスのせいで遅刻しても、理由書類を書くのはおかしいと思います。 ・スクール便がいっぱいで、通常のバスに乗った時、運転手の方に、「なぜスクール便に乗らないのか」と言われた事があるそうです。バス会社の言い分もあると思いますが、生徒にもあると思います。		
4 6 3 17 2 0 1 0	3.26	4 7 3 14 2 1 1 0	3.27	・娘が丘珠を卒業させていただいていますが、卒業してから3～5年はお便りが来ておりましたが、ずっときておりません。 ・行事のお知らせ方法を見直すと、より保護者様へ周知してもらえるのではないのでしょうか。 ・プリントを親に出さない生徒もいるので、大学説明会等を知らないという人もいます。ホームページに載せるとか、親へのメール配信などがあればいいなと思います。		
4 5 3 16 2 2 1 0	3.13	4 4 3 15 2 3 1 0	3.05			
4 1 3 18 2 0 1 1	3.04	4 6 3 12 2 4 1 0	3.09			
4 4 3 15 2 4 1 0	3.00	4 6 3 11 2 5 1 0	3.05			
4 7 3 15 2 1 1 0	3.26	4 7 3 14 2 1 1 0	3.27			
4 6 3 16 2 1 1 0	3.22	4 5 3 14 2 3 1 0	3.09	・冬期間の保護者の送迎について、今一度話すべきかと。近隣の方へ協力や保護者への降車させるマナーを話すべきかと思っています。 ・毎月、街頭指導に立っていたのですね。ありがとうございます。事故防止に役立っているかと思っています。		
4 4 3 18 2 1 1 0	3.13	4 4 3 16 2 2 1 0	3.09			

教職員自己評価					
No.	分掌	評価項目	内容の紹介	教職員自己評価平均	改善策
		(教育計画の実践項目・研究主題のうち評価を求めたい項目、求めるべき項目)		4 十分達成している 3 ほぼ達成している 2 改善の余地がある 1 十分な検討が必要  ( )は昨年度	
11		系統的なキャリアガイダンスの実施により、生徒の意識は向上したか。	詳細な年間ガイダンス計画を作成し、3年間の系統的・継続的なキャリアガイダンスの充実を図っている。	2.59 (2.62)	・教員による校内のガイダンスを充実させるとともに、外部講師を積極的に招き、多様な視点で進路について考えさせる機会を設けていく。
12	進路指導	講習・模擬試験を必要な生徒が活用したか。	ガイダンスにより低学年からの講習受講・模擬試験受験の重要性を理解させ、受験に向けた学力の向上を図っている。	2.44 (2.66)	・進学後の学問の基礎となる相応の学力の必要性を説き、前向きに受講受験するような指導を継続する。特に推薦受験を希望している生徒には重点的に指導をしていきたい。
13		多彩なキャリアイベントを体験することで生徒が将来への視野を広げ、進路実現に向けて取り組む姿勢は向上したか。	各種インターンシップ、大学見学会、高大連携事業等の体験型キャリアイベント、進路相談会等を企画案内し、生徒の積極的参加を促している	2.73 (2.58)	・進路に関わって校外での学習を重ね、それを蓄積し、振り返るという繰り返しを地道に行うことが大切だ。ポートフォリオの蓄積の方策を早急に確立していく。
14		生徒会総務運営委員やHR役員の生徒に自己の役割を認識させ、充実感ある活動をさせることができたか。	前期は他校訪問やリーダー研修また学校祭等の生徒会行事を通して、後期は各種委員会活動を通して取り組んだ。	2.97 (2.84)	・生徒会総務運営委員のリーダーシップにより、代議員を中心としたクラス討議を活発化させる。
15	生徒会指導	各行事やLHRを核としながら、生徒が主体的に企画・運営に取り組むよう働きかけたか。	前期は学校祭、体育大会等の行事、後期は生徒会誌作成に取り組んでいる。	3.02 (2.78)	・学校祭などの行事を企画する際、各HRからのアイデアを取り入れる。
16		部活動説明会や部活動勧誘週間を通して、部活動への加入を促すことができたか。	部紹介、部活動説明会、部活動勧誘週間を通して、効果的な内容紹介に寄与した。また、部活動活性化講話を実施し、講話を通してプロ・スポーツ選手の意識の高さに触れることができた。	2.94 (2.70)	部局長会議を通して新入生オリエンテーション等の内容充実を目指す。
17	健康教育部	各種検査・調査を活用し、いじめの早期発見と問題を抱えた生徒の早期発見と対応に取り組めたか。	学校生活の意欲と学級満足度・いじめ・不登校などの問題行動の予防と対応に準備できるように、年度初めにマニュアルを作成し、各種検査・調査を全学年で実施した。また、深刻な問題を抱えた生徒はサポート委員会で確認し、必要な案件ではSCから助言をもらった。	2.95 (2.90)	・検査結果をより有効に活用できるように、QU検査を学年ごとに時期を設定して実施する
18		清掃活動の徹底と日常的な啓蒙活動を図り、学習環境の美化意識を高めることができたか。	普通教室及び特別清掃区域の清掃を毎日行い、学習環境を整えるように努めた。	2.89 (2.84)	・清掃状況について学年間で差のないように努める
19	図書・情報	校務支援システムの円滑で適正な活用・利用ができたか。	校務支援システムの様々な機能などを必要に応じて提供してきた。	2.73 (2.94)	・公務支援システムに不備が多いため、教員の負担軽減にはならなかった。教務支援システムの改善を働きかける
20		視聴覚機器や図書室を活用しやすいように整備し、効果的な教育活動ができるようになったか。	予算の関係で、全てを準備はできないが、他分掌・教科の協力を得て視聴覚教育環境の整備に努めてきた。図書室は図書の整理を進め、生徒が必要な本を探しやすい環境が整えられた。	2.73 (2.82)	・今年度は図書の整理を重点的にを行い、成果があった。次年度以降も継続していく。

学校関係者評価						
自己評価の適切さ		改善への取り組みの適切さ		学校関係者記述意見		
4 適切な評価 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 不適切		4 十分効果がある 3 効果がある 2 あまり効果がない 1 効果がない				
4 3 3 20 2 1 1 0	3.08	4 2 3 17 2 4 1 0	2.91			
4 6 3 16 2 2 1 0	3.17	4 7 3 11 2 5 1 0	3.09	・就職(公務員他)希望者の生徒への低学年からの指導もあると思います。		
4 4 3 18 2 2 1 0	3.08	4 4 3 17 2 2 1 0	3.09	・項目はそれぞれ長所・短所共にあるかと思われますが。 ・高大連携の体験イベントがもしあれば(今の所、実感なし)、早い時期からでも良いのではないかと。		
4 6 3 17 2 1 1 0	3.21	4 4 3 16 2 3 1 0	3.04	・他校知人に見聞したり、生徒さん達の話題でも好印象であり、自己評価が低いかと思われますが、効果も含めまして生徒全体の姿を見る機会は少ないですが校外で見かけた姿に現れているかと思われます。 ・生徒間の話し合いは、自分の意見を言える良い機会なので良いと思います。		
4 6 3 18 2 0 1 0	3.25	4 5 3 15 2 3 1 0	3.09	・校内の整頓がゆき届いて、部活動生徒以外にもあいさつをされた事も有り、学校での指導・雰囲気共に印象は良かったと思います。ただ生徒さん達が控えめで若干おとなしい感じはいたしました。行儀が良いと思えばそのようにも思われます。		
4 7 3 15 2 2 1 0	3.21	4 4 3 15 2 3 1 1	2.96	・部活動見学が行きやすくなるように周知出来ると良いと思います。 ・入部しない、また入部後やめてしまう生徒は多いように感じます。部活の大切さも、もっと生徒たちに伝わってほしいと感じます。		
4 3 3 19 2 2 1 0	3.04	4 4 3 16 2 3 1 0	3.04	・全体的に先生や運営に携わっている方々の「どこに生徒を導きたいかという明確なイメージがあるのか」との印象を感じました。どうぞ教育指導に対する意欲と情熱を忙しく、これでよしとする終りのない目標に向けて日々努力されている皆様が健やかに生き々と持ち続けられます様、心より祈り申し上げます。		
4 6 3 16 2 2 1 0	3.17	4 5 3 14 2 3 1 1	3.00			
4 3 3 18 2 3 1 0	3.00	4 3 3 17 2 3 1 0	3.00			
4 3 3 20 2 1 1 0	3.08	4 6 3 16 2 1 1 0	3.22			